

浜松市公共下水道終末処理場（西遠処理区）

運営事業

年度事業報告書

2018 年度

2019 年 5 月

浜松ウォーターシンフォニー株式会社

目次

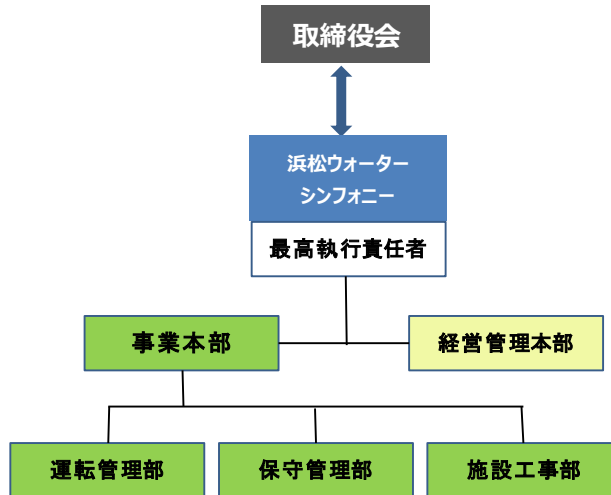
1. 経營業務	
(1) 実施体制	1
(2) 調達管理	2
(3) 内部統制	2
(4) 情報公開	2
(5) 地域貢献	2
2. 改築業務	
(1) 2018 年度改築工事業務	4
(2) 平成 31 年度改築工事発注資料作成業務	5
(3) 汚泥可溶化を伴う嫌気性消化・発電設備導入の事業性調査	5

年度事業報告書

1. 経營業務

(1) 実施体制

- 2018年度の業務実施体制は以下の組織図のとおり。



- 事業運営において、法令上資格を有する者が実施すべき業務には、それぞれ有資格者を配置し業務を実施した。以下に有資格者一覧を示す。

資格名称	人数
技術士(総合技術監理部門(下水道)又は上下水道部門(下水道))	3名
下水道法施行令第15条の資格を有する者	2名
下水道法施行令第15条の3の資格を有する者	28名
防火管理者	2名
危険物取扱者(甲種又は乙種第4類)	17名
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	23名
床上操作式クレーン運転技能講習修了者	7名
小型移動式クレーン運転技能講習修了者	7名
玉掛け技能講習修了者	17名
フォークリフト運転技能講習修了者	18名
自動車運転免許(普通以上)	47名
電気主任技術者(第1種又は第2種)	1名
エネルギー管理士又はエネルギー管理講習修了者	8名
安全衛生推進者	6名

(2) 調達管理

- 委託先について、契約に先立ち入札参加資格受託者等が浜松市への入札参加停止中や入札排除期間中ではないこと、地方自治法施行令第167条の4の規程に該当しない者であること、健康保険法等の届出の義務を履行していることを確認した。また委託業務請負者調査票、工事・業務委託経歴書、技術者経歴書等により委託先の業務経験、予定技術者の経験、保有資格、技術能力について審査し業務遂行能力を有する者であることを確認した。
- 当該年度における物品等(消耗品、部品、備品、薬品、事務用品等)、委託等(修繕、業務委託等)の調達について、市内に本店を有する事業者への優先的活用を行った。

(3) 内部統制

- 品質マネジメントシステム(ISO9001)の認証を2月に取得した。また、労働安全衛生マネジメントシステム(OHSAS18001)の認証取得を2019年4月に見込んでいる。
- 倫理・コンプライアンス研修を全従業員対象に10月に実施し、従業員のコンプライアンス意識の向上に努めた。

(4) 情報公開

当該年度における情報公開の実績は以下のとおり。

情報公開内容	公開媒体	公開日
運転状況	HP	毎月
2018年度施設見学状況	HP	毎月
情報の開示に関する規程	HP	4/2
個人情報取扱規程	HP	4/2
生物多様性を目的とした運転状況	HP	5/29
改築工事契約情報	HP	7/18
下水道ふれあいイベントの開催	HP	7/19
下水道ふれあいイベントの終了のお知らせ	HP	8/13
シンフォニー通信Vol.1(ニュースレター)	HP	9/27
シンフォニー通信Vol.2(ニュースレター)	HP	2/28
全体事業計画書、第1期 短期事業計画書、 2019年度単年度事業計画書	HP	3/29

(5) 地域貢献

- 1) 当該年度に実施した地域貢献活動を以下に示す。
 - 見学者対応

下水道事業への理解促進とイメージ向上を目的に希望者の施設見学を受け入れた。
合計 1,039 名の見学・視察があった。

- 下水道ふれあいイベントの開催
8/11 に市民の下水道事業への理解促進を目的に、下水道ふれあいイベントを西遠浄化センターで午前と午後の 2 回開催した。
- 市や地域の広報イベントへの参加協力
9/9 に浜松市主催の上下水道フェスタ（於：プレ葉ウォーク浜北）、12/9 に五島協働センター祭りへ参加した。パネルの展示や下水道に関連した水処理実験を行った。
- 下水道教室への参加
浜松市が主催する小学校向けの下水道教室に 6 月から 10 月にかけて計 13 回参加した。
- 地域ボランティア活動への参加
5/13 に開催された第 29 回ウェルカメクリーン作戦、10/22 に開催された天竜川クリーン作戦に参加した。
- 本事業を国際的な展示会で紹介
9/16 から 9/21 まで東京ビッグサイトで行われた第 11 回 IWA 世界会議・展示会に出展し、本コンセッションを日本での先例事例として国内外の来場者に紹介した。

2) 西遠浄化センターの上部利用施設を多目的広場として一般に解放しており、当該年度の利用許可申請書の申し込み受付件数は 99 組、合計 5,310 名となった。

2. 改築業務

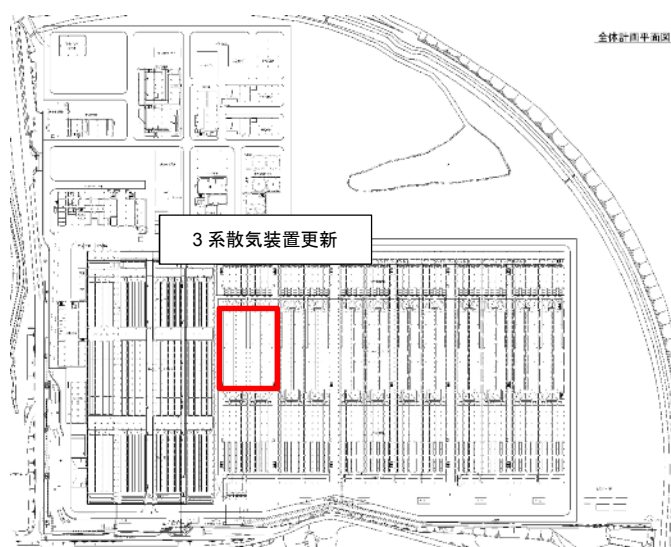
当該年度における改築業務として、機械設備工事 1 件、次年度工事の発注資料作成業務及び汚泥可溶化技術導入の事業性調査を実施した。

(1) 2018 年度改築工事業務

2018 年度工事として、以下の工事を発注し、発注者としての監督業務を実施した。

● 工事概要

工事名称	平成 30 年度西遠浄化センター水処理（3 系）機械設備改築工事
受注者	株式会社西原環境
契約日	2018 年 7 月
工期	2018 年 7 月～2019 年 7 月（13 ヶ月）
実施内容	3-1 系列：機器設計・製作 3-2 系列：機器設計・製作及び一部施工



● 改築検討委員会によるレビュー

改築検討委員会を改築業務の進捗状況に応じて開催し、設計図書、工事、スケジュール、提案項目等について協議、確認した。

(2) 平成 31 年度改築工事発注資料作成業務

平成 31 年度改築工事発注資料作成にあたっては、以下の業務を実施した。

- 要求水準書の作成
- 見積依頼
- アセットマネジメント委員会(AMS 委員会)
工事予定価格作成の上で整理した各工事の設計内容(仕様、施工方法、価格等)について、AMS 委員会にて内容の確認を実施。
- 予定予算の協議

(3) 汚泥可溶化を伴う嫌気性消化・発電設備導入の事業性調査

下水汚泥のエネルギー利用を目的に汚泥可溶化を伴う嫌気性消化・発電設備の導入可能性の調査を行い、年度末に調査結果を市に提出した。検討結果の概要は以下の通り。

- 約 4,100t-CO₂/年、28%の CO₂ 排出抑制が可能と試算された。これは、市が所有する施設全ての CO₂ 排出量の 4%に該当する。
- 現在の処理を継続する場合と比較して、約 3,600 百万円/37 年間の事業費削減が可能と試算された。
- ガス発生量や汚泥の脱水性、返流水による水処理設備や放流水への影響について、実汚泥を用いた実験の必要性や、海外導入事例についての調査が必要と示唆された。

上記の結果を基に、導入の可否について浜松市と協議を継続することとした。



汚泥可溶化設備（イメージ）